

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

• •

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	ホース吊上げ訓練時に起きた事例
3. 体験した事例の中心的要素	想定訓練で、2階窓（地上から約5m）からホースを吊上げ、室内にホースを約5～6m入れ保持、ホースに通水したところ、ホースの自重によりホースが室外側に滑り落ちて、ホースを保持していた隊員が壁にぶつかった。
4. 体験した事例の原因・理由	次の活動に意識が集中していたため、通水後のホースの自重の動きに注意が足りなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

• •

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

• •

1. 発生日時	平成 20 年 4 月 10 日 午後 2 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋内：2階更衣室窓
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	墜落・転落、転倒、
7. 事例体験時の活動	演習訓練 [火災、耐火建造物、]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：2階に要救助者がいる火災想定訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに 1, 2 回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者 A）

○当事者 A	年齢[36]歳、 勤続年数[17]年、 現場経験年数[17]年、 階級[消防司令補]、 同様の活動 [1年に数度]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[25]歳、 勤続年数[1]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [過去に 1, 2 回程]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 B	2階窓から 12mmナイロンロープにより、ホースを吊上げした。	
経過 2	当事者 A	当事者 Bから筒先を受取り、室内に約 5~6m ホースを引込み、結索を解いた。	
経過 3	当事者 B	カギロープをホースに設定し、カギ部分を窓枠に設定した後、水を送るように機関員に伝えた。	
経過 4	当事者 A	筒先を保持していた。	
経過 5	当事者 B	内部進入のため、ホースを送ろうと準備していたところ、通水によりホースに自重がかかり、窓側に引っ張られ、壁に激突した。	
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

体力、反射神経等身体能力が優れていた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあつた。	いいえ
・指示内容が実施困難であつた。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

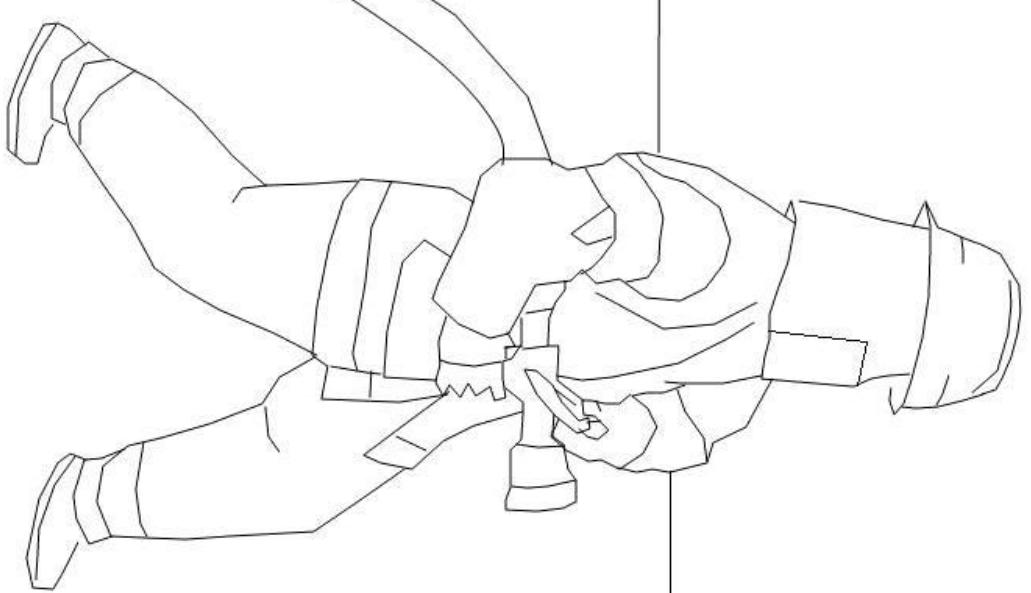
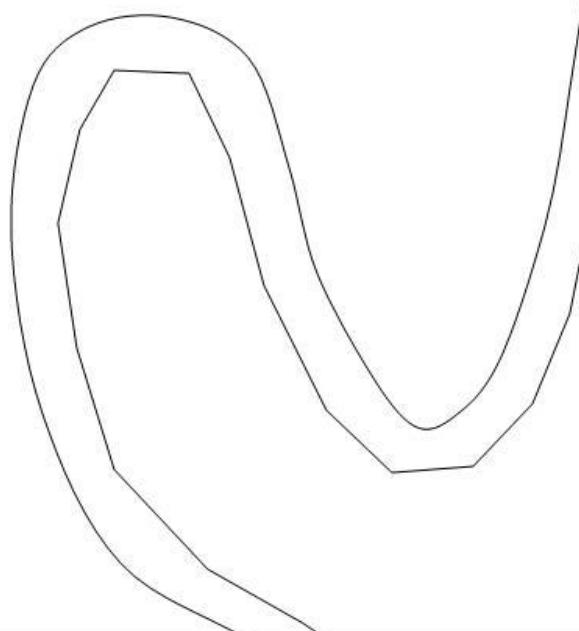
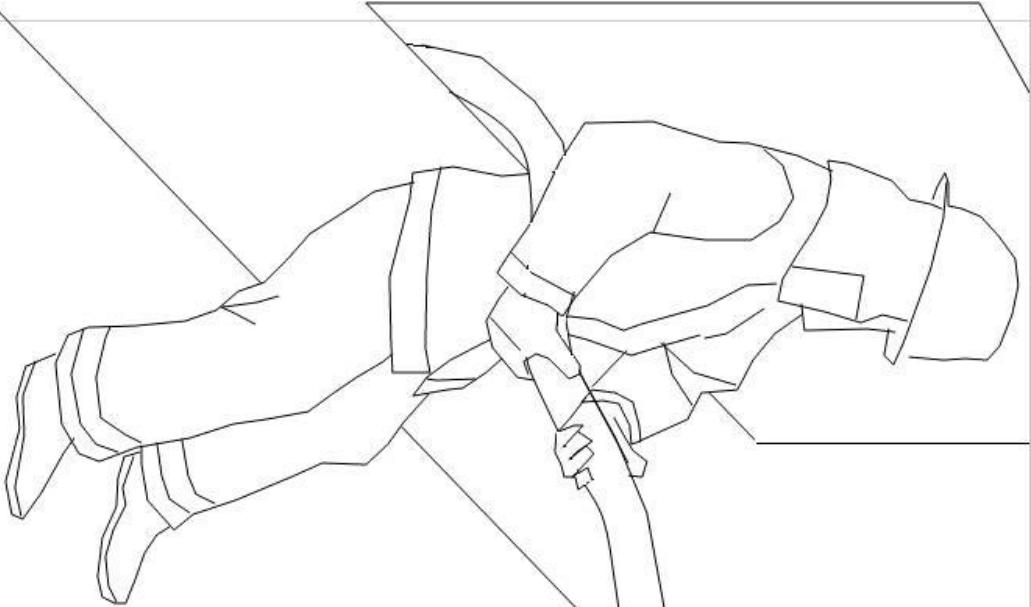
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

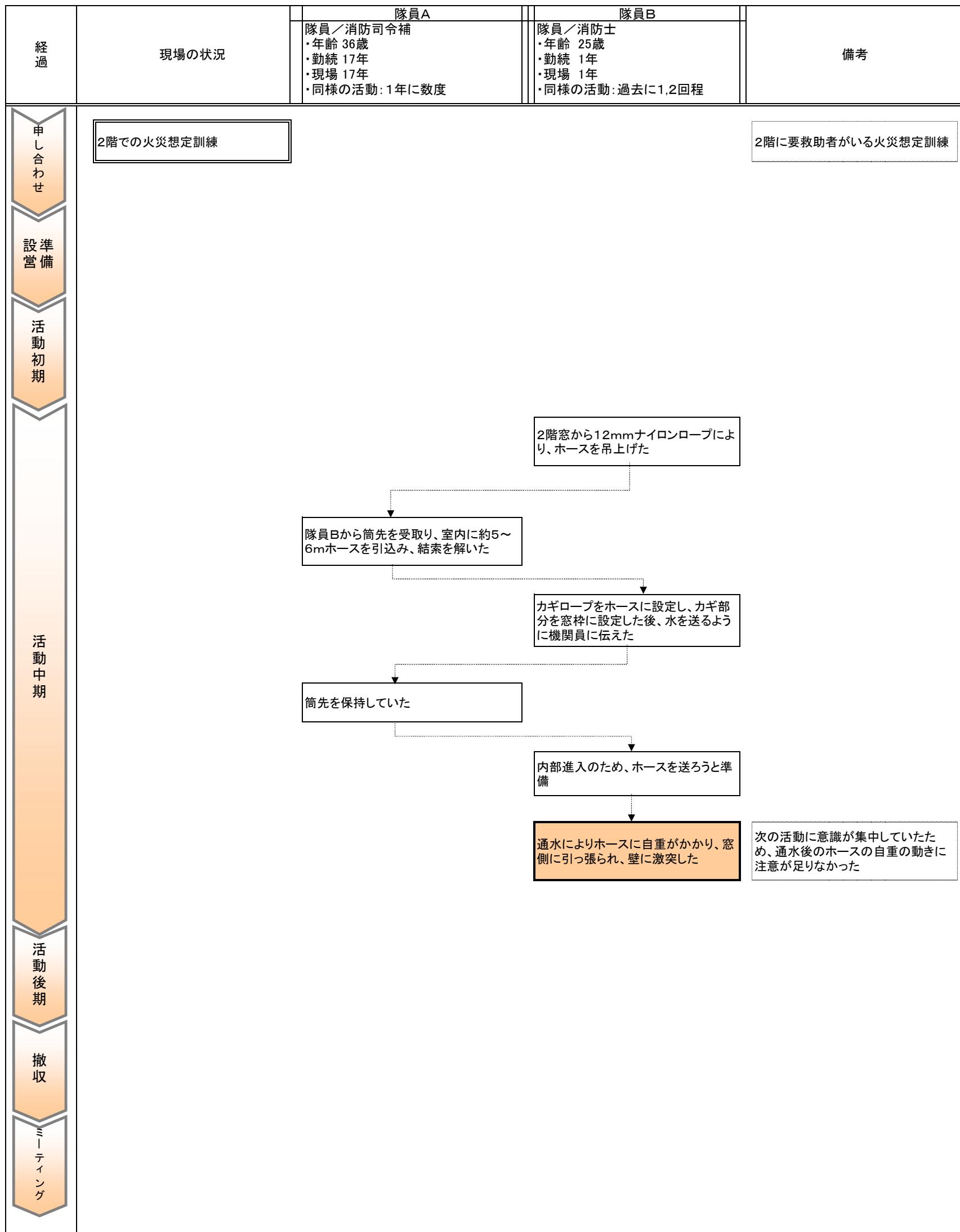
いいえ



○ヒヤリハット事例:ホース吊上げ訓練時に起きた事例
(同様の体験は、これまでに1、2回程度体験している。)

(09H0249)

・発生日時 :平成20年4月10日 午後14時頃



◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

- 直接的な原因:行動の意志決定に問題があった。
 - ・体力、反射神経等身体能力が優れていた。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

(心理・体調について)

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
 - ・活動に対する経験が不足していた。
- (指揮・管理について)
- ・隊員の連携が不十分だった。